

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	集住文化小委員会	主 査 名：伴丈正志 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの公開研究会を含んだ研究成果である『集住の知恵』を刊行する。 ・集住の知恵を題材とする大会の研究協議会の企画・開催を行う ・東アジアの共生のしくみを探る公開研究交流会の企画・開催する 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 有 伴丈正志(長崎総合科学大学)、川窪広明(大手前大学)、後藤隆太郎(佐賀大学)、伊藤庸一(日本工業大学)、岡田知子(西日本工業大学)、重村力(神戸大学)、地井昭夫(広島国際大学)、加藤宏之(国立音楽大学)、黒野弘靖(新潟大学)、月館敏栄(八戸工業大学)、工藤和美(明石高専)、加藤仁美(加藤仁美環境デザイン研究所)、岡部雅美(城建築設計事務所)、柴田加奈子(西日本工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2005 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無 農村計画委員会のホームページに掲載： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む) 拡大幹事会 1 回開催
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 集住の知恵 - 美しく住むかたち -
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会「中国・青島歴史街区の保存を考える」 参加者数 7 名(中国側 20 余名)
大会研究集会	1. 農村計画部門研究協議会「集住の知恵と環境共生デザイン」 参加者数 90 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 所定の刊行物の出版を実施した 2. 大会研究協議会の企画実施を行い、多くの若い参加者を得ることができた。 3. 中国・青島での公開研究会を実施予定である。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 実際に活動する委員が固定化してきていた。 2. 予算が少なく、十分な活動ができにくい面があった。